

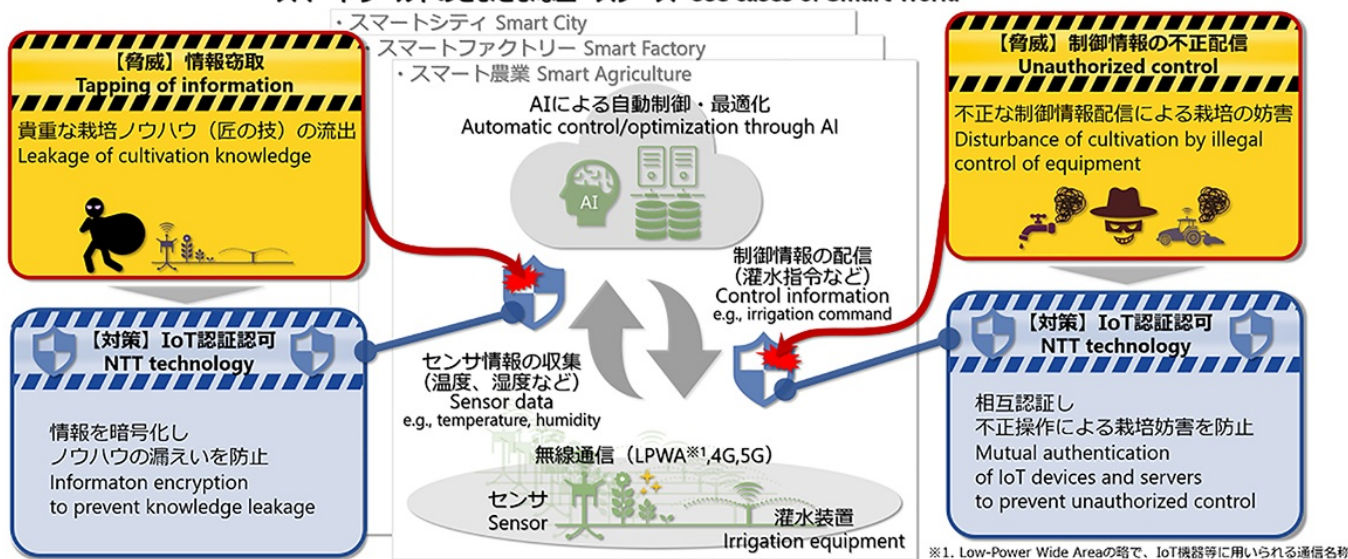


# スマートワールドで利活用される価値あるデータを守ります

## 概要

スマートワールドにおけるIoTプラットフォームで求められるデータ保護機能を、通信速度の遅いネットワークでも実現可能な暗号技術です。本技術によってセキュリティ対策が必須となる付加価値の高いIoTデータを活用したビジネスが可能となります。本展示では、スマート農業を適用例としてご紹介します。

### スマートワールドのさまざまなユースケース Use cases of Smart World



## 特徴

- LPWA (ZETA) で利用可能な公開鍵暗号技術を世界で初めて実現
- パスワードより安全性が高く電子証明書よりも通信量が少ない

## 利用シーン

- スマート農業：栽培ノウハウの漏えい、灌水装置などの制御機器の不正操作を防止
- スマートシティ：交通量やインフラ情報のデータ改竄、ビルや防災設備の不正操作を防止

## 今後の展開

- スマートシティなどその他のIoT通信ユースケースへも適用できるよう、パートナーを拡大し技術検証を進めていく予定です。

## コラボレーションパートナー

- AI自動灌水技術を持つ国立大学法人静岡大学と本技術を連携させた、AI自動灌水による栽培システムの共同実証実験を実施しています。

## 出展社

日本電信電話株式会社、株式会社NTTドコモ

問い合わせ先：  
rdforum-sv-ml@hco.ntt.co.jp